

アボミ・カラヴィ地区・アカサト行政区
アジャグボ公立中学校の
傍らの小さな家の建設
報告 3

アジャグボ中学校の敷地内に、ある家族がトタン屋根の下にドアも窓もない状態で住んでいました。この家族は13年前に、ここに学校が建つとは誰も思っていなかったころ、この土地を買っていました。



新校舎を建てている間、私はこの家族にあうたびに気が重くなりました。彼らが遅かれ早かれ引っ越さねばならないのは目に見えています。けれどもこんな貧しくてはどこへ行けばいいのでしょうか？ クリスマスの2週間前に私はこの家族のために、2部屋と台所、シャワー、トイレのある家を建てることを決心しました。でもどこに？ 隣人が学校のすぐ近くに土地を持っていました。それで彼はその土地と学校敷地内の土地との交換を提案して下さいました。彼は、あとで村から代用の土地を受け取ればいいということになりました。女性と子供たちは校舎建設後残った小石や砂を近くまで運び、女性たちは周辺から水を

運び、男性たちはトイレ用の穴を掘りました。わたしはこのような連帯が起きたことに驚き、喜びました。2週間でこの家に引っ越せるまで出来上がりました。



この家族はもう天にも昇る気持ちでした。私たち関係者もそれは同じです。クリスマスはこの建物のま前で祝い、キリストの誕生は私たちと共にありました。

當田アストリット